



議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に 29 人が登壇

合併10周年 記念事業について



鬼丸 裕史
議員

平成27年10月に本市は合併10周年を迎えます。これを機に市内各地では、さまざまな行事や事業が行われる予定です。そこで、合併10周年記念事業の方向性について、以下4点伺います。

①合併10周年記念事業式典の開催をどのように考えていますか。②本市を広く全国にPRできるイベントを開催するべきと思われますが、現時点で考えられる目玉イベントについて伺います。③音楽に関連した市独自の事業として考えられるものはありますか。④合併10周年を記念した制作品を考えていますか。

○総合政策部長

①合併10周年記念事業式典の開催については、市民との一体感の醸成や市民の皆さまに本市への愛着や誇りを持つていただくためにも、ぜひ開催したいと考えています。②本市を広く全国にPRできる

事業として、現時点では「NHKのど自慢」のようなテレビの公開収録番組を招致することも一つの有力な選択肢ではないかと考えています。③音楽に関連した市独自の事業としては、「市の歌」の制定を検討したいと考えています。④合併後10年間の本市の様子を記録したDVDの制作などを考えています。

このほか

○子育て支援のための保育所整備について

○子育てしやすいまちづくりについて

○太陽光発電施設について

春バス運行について



荒木 洋美
議員

このたびの選挙戦では庄和地域をくまなく回り、市民の皆さまから春バスに対する多くの要望をいただきました。

これら要望の中には、春バスを利用したくても利便性が悪いため利用しにくい、とのご意見もありました。ここ数年、春バスの利用を希望する高齢

者の方が増えています。また、今年度から春バスの第三次運行計画の策定に着手すると伺っており、庄和ルートの再編については、もう少し利用者の利便性を考えた上で運行経路を策定していただきたいと考えています。また、今後は高齢者が通院や買い物等に利用できる福祉バスの運行計画についても策定していただきたいと考えていますが、市の考えをお聞かせください。

○都市整備部長

春バスの運行経路は、車両数、運行エリアなどの条件等を運行基本方針に照らし合わせることににより、市内公共交通としての利便性の向上を図っていきたいと考えています。また、春バスは市総合振興計画に基づき、民間路線バス網の補完を行い、市内公共交通ネットワークの向上を図ることを目的に対象年齢を制限せずに、誰にでも利用できる公共交通として運行しています。従いまして、利用対象者を高齢者等に特化した福祉バスとして運行することは、大変難しいと考えています。

このほか

○認知症の取り組み

○花とみどりのまちづくり

大沼・豊町地域、 栄町2丁目の 早期の冠水対策を



今尾 安徳
議員

地域の皆さん、多くの皆さんから冠水対策のご要望をいただきました。昨年は、議会が中央・谷原地域の冠水対策について提案をしましたが、今回は大沼・豊町地域と栄町2丁目の冠水対策について、この間の取り組みと、現状の認識について市の考えを伺います。

また、特に大沼・豊町地域では、市民プールの解体に合わせて、大沼公園内に水を一時期ため置く施設を造ることに非常に有効なのではないかと思うのですが、市長の考えを伺います。

○建設部長

冠水被害の軽減対策としては、河川の未改修箇所を広げ流下能力を高めることが重要だと思います。

県が行っている河川整備計画と整合を図りながら進めたいと考えています。

道路冠水被害としては、春

日部警察署周辺及び豊町1丁目から3丁目付近、並びに栄町2丁目地区において通行止めなどの対応を取っており、早期の冠水対策の必要性については認識しています。

○市長

さまざまな事業を通じて浸水被害の軽減に取り組んでいます。個別箇所の整備については、全体の中で総合的に判断してまいります。

このほか

○内牧地域に高齢者の交流の場を

○内牧地域の公共交通の充実にあらゆる資源の活用を

豊野地域の余熱利用 施設用地に温水 市民プール建設を



松本 浩一
議員

大沼公園の市民プールは5年前に「休止」とされ、新たな建設計画を作ることなく昨年4月から「廃止」とされました。

海のない春日部市として、

市民プールは必要な施設であり、早急に建設の方針を打ち出し、具体化を図る必要がある

ります。

豊野地域にある環境センターには、「余熱利用施設建設計画」に基づいて1994年（平成6年）に地権者11名から購入した2万2896平方メートルの土地があります。これは、ごみ処理施設建設時に地元還元施設を造るために購入したものです。

しかし、1995年に財政難を理由に施設の建設が見送られ、現在まで暫定の多目的広場として地域住民に開放されてきました。

土地購入から20年が経過し、余熱利用施設建設は先送りされたままになっています。

市民プールが廃止され、市民から早く造って欲しいという要望が大変多く出されています。豊野地域への約束を守るためにも、この土地に温水市民プールを建設することが必要です。いつになったら事業化できるのか伺います。

○市長

ごみ処理施設の建て替え等の際に状況を踏まえて再度検討していきます。

このほか

○教育委員会の独立性を奪う「地方教育行政法の改定案」について教育長の見解を問う

市立病院の救急患者 受け入れについて



佐藤 健児
議員

市立病院の建設は、今年度の施政方針でも位置付けられている重要な施策です。そこで、以下について伺います。

- ① E R型救急の内容について、
- ② 救急科の設置について、
- ③ 現在の救急搬送の体制について、
- ④ 「365日、24時間、救急を断らない」病院にできないものか、
- ⑤ 高齢者への救急対応について、
- ⑥ 全ての救急車に設置されているタブレット端末の活用について

○病院事業管理者

① E R型救急とは、全ての救急患者の初期診療を行い、各診療科の専門医でなければ対応できない病態のみを専門医が診療することです。② 新病院では総合診療科の設置を見込んでおり、E R型救急の運営を総合的に勘案した上で最もふさわしい組織形態をとりたいと考えています。④ 市長部局、医師会、市内の救急病院間との連携体制を検討の

上、システムの構築を目指していきたくと考えています。

⑤ 医療と介護の地域包括ケアの構築において、新病院の役割を十分に検討した上で対応していきたいと考えています。

○消防長

③ 傷病者の観察及び応急処置等を行うとともに、タブレット端末を利用し、いち早く医療機関に搬送できるよう努めています。⑥ 医療機関を検索するための情報手段として活用しています。

このほか

○橋りょう整備

○情報セキュリティ対策



消防本部の救急車

内牧地区の市道2-1号線 及び市道2-11号線について



金子 進
議員

内牧地区の市道2-1号線（かえで通りの栄町1丁目から内牧地域を縦断し白岡市との行政界までつながる幹線道路）及び市道2-11号線（国道16号線の新方袋交差点から埼葛斎場付近を経由して市道2-1号線につながる幹線道路）は、朝夕の時間帯になるとたくさん車が通行し、スピードを出している車も多いことから非常に危険な道路です。これら道路の一部区間は小学校の通学路にも指定されており、子どもたちの安全を確保するためにも早急な道路整備が必要となっています。

そこで、市道2-1号線における側溝改修工事の今年度の実施予定について伺います。また、市道2-11号線については、埼葛斎場の大規模な改修工事の際に地元自治会より斎場から北側区間の道路整備に対する要望がありました。市としては、その経緯を踏まえ、早期に道路整備ができるよう取り組んでいきたいと考えています。

○建設部長

市道2-1号線における側溝改修工事の実施予定ですが、今年度は、栄町2丁目の塚内公園付近の延長約50メートルの工事を実施する予定です。

また、市道2-11号線については、埼葛斎場の大規模な改修工事の際に地元自治会より斎場から北側区間の道路整備に対する要望がありました。市としては、その経緯を踏まえ、早期に道路整備ができるよう取り組んでいきたいと考えています。

○内牧公園について



市道2-1号線（塚内公園付近）

市民サービス向上のために



小久保博史
議員

英単語として「Service」と言った場合は、「誰かに尽くすこと」「奉仕」という意味があります。公務員は全体の奉仕者であり、「奉仕」とは「サービス」ですので、公務員はサービス業ということになります。市民の皆さまから納税して頂いた税金で、市民の生命、財産を守り、住環境や福祉の向上を図るための仕事をし、納税は国民の3大義務のひとつですので、公務員は最高のサービスを提供していかなくてはなりません。

そこで、平成25年度にスタートした総合振興計画後期基本計画において、市民サービスの向上に視点を置き、特に強化した事業や、その事業効果が現れ始めている取り組みはどのようなものがあるか伺います。

○総合政策部長

総合振興計画後期基本計画

では、人口増加と担税力向上に視点を置き「重点プロジェクト」を創設しました。

成果を上げている具体的な取り組みとしては、民間保育所整備への補助、エンゼル・ドームの親水広場整備、介護支援ボランティアポイント事業、かすかべフードセレクトション推進事業、太陽光発電設備設置者への補助金交付事業などがあります。

今年度からは計画の進捗管理を進め、事業効果の検証を行ってまいります。

このほか

○雨水対策について

自然エネルギーの 推進について



古沢 耕作
議員

私はこれまで、市民活動を通じて地域にとって安心・安全な自然エネルギーの推進に取り組んでまいりました。エネルギー選択の問題は、単に電気が足りればいいという問題ではなく、「次の世代にどのような社会を残していくのか」という問題です。これは、

国の政策がどうであれ、地域で考え、そして選択していくべき事柄です。

そこで、この件に関する本市としての基本的な考え方を伺います。また、「自然エネルギー推進課」を新設して、市民に分かりやすい形で、これまで以上に積極的に取り組んでいただきたいと考えますが、いかがでしょうか。

○環境経済部長

市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定し、温室効果ガスの排出抑制等に、市組織だけでなく、関係機関や関係諸団体の協力の下、さまざまな事業に取り組んでいます。本年度は、住宅用太陽光発電設備設置者への補助金の交付や、太陽光発電施設の設置、電気自動車の導入及び充電施設の設置を行う予定です。

また、昨年度より再生可能エネルギー推進担当課長を新たに配置し、積極的に事業に取り組んでいます。

このほか

○地域ぐるみで子どもを育てることについて

○豊野・藤塚地域の歩行者の安全対策について

公園について 今後のリニューアル と新設計画は



山崎 進
議員

公園、緑地、緑道あるいは広場は、コミュニケーション活動や、レクリエーション活動の場など、市民生活にうるおいを与えるとともに、災害時の避難場所としても重要な役割を担っており、市民生活に欠かせないものですが、市民一人に対する公園面積が目標の半分にも満たないのが現状です。そこで、今後の新設計画と既存のふれあい公園リニューアル計画について伺います。

また、ベンチや遊具、樹木などに、企業などから寄付をしていただく代わりに広告や記念プレート等を取り付けることで、事業費の削減や財源確保ができないか伺います。

○建設部長
今後の公園整備計画については、主な事業として「大枝公園整備事業」と「川の駅整備事業」を進めるとともに、「子育てふれあい公園リニューアル事業」として、毎年度

2カ所の公園の整備事業を行っています。

また、公園内の広告物の設置については、「埼玉県屋外広告物条例」により屋外広告物を設置できないため、現状では広告収入や広告板の設置を条件に公園施設の寄贈を受けることは難しい状況ですが、公園施設の寄付を募る制度を行っている自治体もあることから、先進事例等の調査に取り組んでいます。

このほか

○大落古利根川の活用について

○シティセールスについて

財務書類の開示について



吉田 剛
議員

私が公認監査人を目指すにあたって、いつか、どうしても真剣に取り組んでみたいと考えていた未知の財務・財政分野がありました。それは、地方自治体の財政制度の実状です。公認監査人だからこそ可能な、より専門的で詳細な財務分析に基づいた財政状況

の把握を行い、より丁寧でかつ分かりやすい様式による開示を行うことで、主権者であり納税者である市民の方々に現状説明ができればと考えます。そこで、本市における財務書類の開示の状況について、近隣市町との違いを踏まえて伺います。

○財務部長

決算関連では、決算認定後に市政情報室や市内図書館に決算書を配架し公表を行い、併せて決算概要を広報かすかべ及び市ホームページで公表しています。また、財務書類4表については3月定例会にて議会報告し、財務4指標については、決算認定後に議会報告後、それぞれ市ホームページで公表しています。また、近隣市の状況ですが、越谷市や草加市では本市と同様に、決算概要についてホームページで公表していますが、決算書全部については、ホームページでの公表は実施していない状況です。財務書類4表は、概要書類及び簡易版をホームページで公表しています。

このほか

○働きながら安心して子育てできる環境整備について

○創業支援について

新中央町第1公園は藤の街 春日部アピールのチャンスに



井上 英治
議員

市役所移転で空地となる場所に市立病院建設場所の代替公園として新中央町第1公園が構想され、パブリックコメントも募集されました。

この基本計画では、平成34年3月に完成の計画ですが、

コンセプトに問題があります。

した歩道整備を検討します。第2のふじ通りへの提案についてはフジの植樹位置や植生などの課題を整理します。

また、立体駐車場の存続については、現在と同規模の公園面積が代替公園としての要件となることから難しいと考えています。

○総務部長

別館については、一定の耐震性を有する建築物であり、活用方法については今後の検討課題となっています。

このほか

○春日部市に消滅自治体の心配はないのか



現在の中央町第1公園